

No.	性別	年齢	コメント
0001	女性	40歳代	何気なく見過ごしてしまう風景の中に社会学的な意味を考えていて良いと思いました。言われてみるとそうだねと思えるコメントがっていました。
0002	女性	40歳代	SNSの効果についても一歩踏み込みそうでキャプションをもうひとひねりしたら、良くなりそう。今を反映しているし視点は良いと思います。一億総発信、総報道の時代ですからね。
0003	男性	20歳代	どの作品も東京という都市の非常に細かな場面をしっかりと観察しているものが多い。東京駅や「トー横」など普段通りかかっても深く考えなかつたりする「日常」に独自の風景や環境などが生まれていることが作品から非常によく読み取れる。また、関連した過去の作品も同時に見ることが出来て、より作品を多角的に味わうことができた。
0004	女性	20歳代	様々な写真から、東京を考えてみるきっかけを得ることができて面白かったです。普通の何気ない日常も写真を撮って見ると、見えてくるものが違いました。
0005	女性	20歳代	アイドルに絡んだ展示が見られて、非常に興味深かったです。
0008	男性	20歳未満	東京の新しい発見が多々あった。トー横など最新の事例があり、面白かった。
0009	男性	20歳代	品川駅はいつも利用してるのですがタイトルや写真を見ると考え深いものがありました。
0010	男性	20歳代	高級ブランドの店が並んでいるので、歩いていて気持ちがいいと思った。
0011	男性	50歳代	興味深く面白いです。
0012	男性	20歳未満	日常生活の中で特に意識してこなかったが、言われてみるとそうだなと思いました。東京は人が多いので、いろいろな場所を観察してみるとたくさん面白いことを見つけられそうです。また東京にはいろいろな属性を持った人がいると再確認できました。
0015	男性	30歳代	5 群衆が持つ広告機能を理論的に記述できるとよい。4 秋葉原メイドに特殊な姿とは何か、立ちんぼやティッシュ配りとの異質性・同質性は？ 各作品を総合して見える「東京の姿」は何か逆に視覚を通じて見えないものは？
0016	女性	20歳代	授業で見慣れている形式だったのと結構身近な内容で面白かった。
0017	女性	20歳代	綺麗な東京の姿だけではなく、トー横のような場所も写し出されており、面白かったです。
0020	男性	20歳未満	東京に来たら行きたいと思う場所として、1, 8, 9がそう感じました。5は毎日通学する際に通っており、いつ見ても魅了されるものだなと感じました。8と9に関してはまだ行ったことがないので大学在学中に行ってみたいなと思いました。
0021	男性	60歳以上	皆さんが面白い東京を探してくるのに驚きます。どの作品も「え、、、こんな所があるんだ」と感心します。
0023	女性	20歳未満	カメラが好きなので、風景はもちろんその場所にその物がある意味や効果を感じて、写真という一瞬のものに流れを感じる事が出来て面白かった。
0024	女性	20歳代	社会学の観点から見ると、東京にはこんなに面白いことが観察できます。
0025	男性	20歳代	1 駅に人が集まる。ではなく駅が人を集める着眼点が面白かった 6 気楽に休める状態を「透明人間」と題したのが個人的に好きです。
0026	男性	30歳代	身近な風景に対する社会学的視点が興味深かった。
0028	女性	60歳以上	日々の生活の中で、何気なく利用している所を深く考えて観るといろいろなことが見えてくる事に感動しました。待ち合わせをしている人の後をつけて行ったりして、大丈夫？と思いましたが、学生ならはだなどと思いました。面白い展示をありがとうございました。
0029	男性	60歳以上	9作品の内7作品は日常よく目にしてきた風景であるが、展示作品をみて改めてそれぞれの場所の存在感を感じた。説明文がとても新鮮な視点からのものであった。題名としてはNo.06「透明人間になれる無料休憩所」が一番。
0030	男性	20歳代	トー横にいる人々と警備員の「併存」という言葉が印象的だった。
0031	女性	20歳未満	今年から上京してきた私にとっては、すべて東京を最も知ることのできる作品で面白かったです。まだ、見たことのない場所や行ったことはないけど、行ってみたい場所、ずっと行きたくてようやく行くことができた場所について、くわしくまた「そんなことがあったんだ」「そうだったんだ」と思うことができたのでした。楽しかったです。
0032	男性	60歳以上	今日初めて展示作品を見ましたが、どの作品も素晴らしかったです。学生の方はもちろん私、社会人にとってすごく勉強になりました。写真を通して、普通に見ていれば何も変化はありませんが集合的写真観察法を通して、写真の中に隠されている事象を的確に分析しそれが今の世の中を通して考えていくというおもしろい学問ですね。後藤ゼミナールの生徒は多分この勉強を通して、観察力・マーケティング・仮説の立て方将来仕事の面でも、私生活の面でも役に立つことでしょう。できれば学生さん（後藤ゼミナール）の生の発表を聞きたいものです。
0033	女性	20歳代	普段目にしている光景でも、不思議に思わず通りすぎてしまっていることに気づかせる真新しい発見のできる作品ばかりだった。

0034	女性	20歳代	東京に住んだことがなく、大学の時しか来ないため、いろいろな土地のあり方が見れてよかったです。私もこのキンプリの広告を見にいったで、興味を持てたので「5」を選びました。どれも面白かったです。
0036	女性	40歳代	過去の作品ともリンクされており非常に興味深いものになっていた。説明文もついひきこまれてしまう。普段、当たり前のように利用している場所も、意外と見ていないことに気づかされた。
0037	男性	50歳代	もう少し研究調査結果に対する考察があれば良いと思いました。あと、何の目的でその調査をやるのか？
0038	女性	60歳以上	社会学科の授業を受講しています。なんでも研究対象になること、統計をとること傾向を知ることなど日常の変化とマクロの目で見ている重要性を感じます。面白い研究ですよ興味あります。
0039	男性	20歳代	いつもゼミブログを読ませていただいて、本当に苦勞の多いことだったと思います。私がゼミ4年だった頃は3・4年合同で25人ほどいましたので、その半分の数でコロナ明けで引継ぎもなかった事、お疲れ様でした。30年もやってるからこそ、過去作品との比較ができ、まさに「今」の東京の真相が理解できるのだと思います。2019年に自分がゼミ生だったことを思い出しながら楽しませていただきました。有難うございました。
0041	女性	20歳代	写真と解説文を見て、解説文と異なる意見も時にある。人によって、感じた、考えたことが違うと思いました。
0042	女性	40歳代	何気ない風景の中にもいろいろな社会背景があることに気づかされました。どの作品もとてもよかったのですが、特にきづきの多かったものを選びました。一番の写真はとてもきれいでした。公園のありかたもすごく共感します。町は人がいてこそその場です。人を考えた町作りであってほしいと思います。
0043	男性	20歳代	写真に写る人達の行動や目的、それによって生み出される効果を読み取れて面白い体験でした。いくつかの写真は現地にいったことがある場所のものでしたが、そこをあるくのと写真で切り取って見るのは、また違った面白さがありました。
0044	女性	20歳代	ト一横でもたくさん種類の人がいるんだと思った。会社員女性もいることに驚いた。
0045	男性	20歳未満	ト一横にいる人々はなぜわざわざ都心にいるのか疑問に思うことがある。
0046	女性	50歳代	9番（ト一横）の展示は過去の公園の展示と並べることでより「生きて」いて、社会的空間について考えさせるものになっていて感心しました。全体に写真をとる人の視点と、写真を見る私たちの視点が重なるように持っていく説明もさすがと思いました。学ぶところ多く、感謝しています。周りの人にも勧めます。
0047	男性	20歳代	過去作品と比較して、同じ場所でも別の視点で写真をとらえることによって、新しい発見が生まれる点に関心した。
0048	男性	20歳代	東京という場所は人でごった返っていて、人混みが嫌いな自分からしたら「マナーやルールも敷かれていないような無法地帯」だと思っていたが写真を見ると、施設の利用者への配慮、利用者のモラルや道徳性がいろんな場面、場所で見られて見方が変わった。
0049	男性	20歳代	2様々な路線をわかりやすくしている鉄道会社の努力がみえて人の動きもなんとなく見えて興味深い 7喫煙所という世間から見て嫌悪感を持たれやすく、注目もそれほど浴びない風景にスポットライトを当ててとることはすごいと思った。自分も何気ない風景を撮るの好きなので、ちょっと撮り方が似ているとおもった。
0051	男性	20歳代	木崎君の作品があると思いませんでした。とても分かりやすく、表参道に行ったことが無かったが行きたくなりました。とても良い作品です。
0052	男性	20歳代	東京の東京らしさが良くも悪くも映し出されている写真だと思った。
0053	男性	20歳代	表参道周辺のことが書かれていておしゃれな町だと思い、一度は歩いてみたいと思いました。
0055	女性	50歳代	写真と言いながら、調査も併設されているところが社会学的ですね。単なる写真展とは違う切り口で面白かったです。
0058	男性	20歳代	1の作品で気になったラブホテルという言葉が直接的に表現するのではなく、別の類推できる言葉に置き換えるなどした方が良いと思いました。
0060	その他	20歳未満	普段通る新宿駅やト一ヨコの景色を、活動感を感じる暖かな撮り方をされていてすごいと感じた。
0061	男性	20歳代	比較ができると面白かった。
0062	男性	20歳代	展示会お疲れ様でした。過去に自分も関わった写真展が終わるということで来ました。ありがとうございました。
0064	女性	30歳代	7.8は自分が知っている話題ではあるものの、プラスで知らない情報が知れた。ト一横に海外の人がいることや、たばこを吸うために順番を待つ日本人らしさが新たな発見でした。この文章に収めるに難しいかもしれませんが、インタビュー調査に力を入れた作品が見たい。ト一横や歌舞伎町、大久保公園界隈の話は興味深いのでぜひ取り上げて欲しいです。
0065	男性	30歳代	全体的に写真の画力が弱いと感じられたが、細部に意識を誘導させるテキストがリカバリーの役割を果たしていたように思えた。

0066	女性	30歳代	どれもとても素敵でした。後藤ゼミのOBなので小間でもこうして元気に活動しているのがとてもうれしいです。頑張ってください。先生に奇跡的にお会いできたのも最高にうれしかったです。
0067	男性	20歳代	作品を見てみて、日頃頻繁に通っているところにもかかわらず、生活をしているときには全く見えないものが観察することによって見えてくることが分かり面白いと思った。
0068	男性	20歳代	今回の作品では「？」を使った作品は見られなかったが、2017年度の作品であった「おおよけのそのとは何だ？」では「？」を使っていた。写真の説明文が400字ということもあり説明だけで終わってしまうものも多いが最後見た人への問いかけをしていた要素があり大いに考えさせられた。
0069	男性	20歳代	6番の作品は約10年前と同じ場所で作品を撮ることによってルミネエストの戦略観点から社会的に分析していてとても興味深かったです。普段よく目にする光景からあまり馴染みのない光景まであり新鮮でした。作品と作品の間隔をもう少しあげたほうがより一つ一つの作品に集中できるのではないかと感じました。
0070	男性	20歳代	東京という町の特徴を捉えていて、街・人・文化・習慣が写真や文章から分かりました。
0071	男性	20歳代	ルミネエスト新宿という場所での空間がくつろぎだけでなく、商品の宣伝と人目を気にしないで満足できる居場所である。人々が視線を気にしすぎる東京でくつろげるオアシスである素晴らしい作品である。
0072	男性	20歳代	作品はそれぞれ興味深いものであったが、社会的な問いと答えが紹介されていないので物足りなかった。9枚の写真から導ける東京人に共通した性質などが紹介されていればよりよいと思った。
0073	女性	20歳代	身近なテーマでとても分かりやすかった。東京ドームシティの多面性は現地にいるとそこまで感じられないため客観的に見れていて面白かった。
0074	男性	20歳代	どの作品もどこにでもある日常を切り取り、変わり映えのしない1枚に見えるが、実際に映っている人の属性や土地柄などを説明文から読み取ると、まるで写真が映像であるかのように移っている人の声や雑踏が聞こえてくるような気がした。中でも5番や9は移っている人にインタビューがされていることで、その人がどんな生活をしているかだったりどんな思いでその場所に来ているかだったり想像させられた。1番の写真からは映っている人の考えや背景、土地柄や土地の匂いまで伝わってくるような気がした。
0075	男性	20歳代	個人的に興味を持った空間はルミネエスト新宿に位置する休憩スペースである。この空間の存在は知らず、また背後の人の顔を見ないという設定は惹かれるものがあった。特に印象に残ったものは撮影者の根気であり、平均滞在時間だけで無くグループが単独か、また国籍や年齢等も注目しているところである。他の撮影者にもそのような試みがあったが、一番最初に見た写真であったためにこの写真を選んだ。
0076	男性	20歳未満	ト一横などあまり触れづらい内容があつて面白かった。また、京急線を用いて毎日通学しているので品川駅の写真と京急蒲田の作品は親近感があつて良かった。京急蒲田が二重構造になっていることと1901年にできたことを初めて知りました。その他、秋葉原のメイドの作品も面白い。客引きができない中、自分たちが売るためにご主人様を待つ姿はとても応援したくなる。私も今度メイドに行つてこの子たちの売り上げに貢献しようと思う。ゼミ生の3年生、4年生の方々が気さくに話しかけてくださって貴重な話もしてくださり、とても優しくつた。自分は史学科なので一緒に授業が受けられないのが残念だ。
0077	男性	20歳未満	自分が東京を歩くときはスマホを見ながらまたは音楽を聴きながら周りの景観を気にしながら歩いているので、1場面を切り取つての写真を見られる機会は貴重だと感じました。無料休憩所に座つたことのある友達がいりして身近な話題が多くあるなど感じました。
0078	男性	20歳代	個人的にはト一横の作品がとても面白いと思った。ト一横という本来は皆が拒否すべき所にフォーカスしてそこにいる人にインタビューして実際にそこの環境を調査する勇気がすごいと思った。また、喫煙所の話も興味深い。自分はたばこを吸うので東京の喫煙事情についてちょうど気になっていたところなのでありがたい。
0079	男性	20歳代	今回の内容は鉄道に関する時代の変化が記されている作品が面白かつた。また、たばこやコンカフェなど普段焦点当てづらいポイントに焦点が当てられていてディープな内容を取り上げるのが後藤ゼミの魅力だと感じました。
0080	男性	20歳未満	最近の事例(ト一横など)の研究がやはり興味深かつた。
0081	男性	20歳代	何事も急ぐ世の中で喫煙所に行くときはゆっくり時が流れる。これは私も同じ感覚であります。いくら並んでいても待つ。不思議な空間だ。
0082	女性	20歳代	2回目でしたが、1回目に感じたコトを踏まえてみると、また違つて面白かつたです。
0083	男性	20歳代	計画的に作られた空間を実際に自分で足を運ぶことで作成者の意図が理解できていて面白いと思った。自分が住む街はどのような意図で作られたのか知りたいと思った。
0084	男性	20歳代	今回の9つの東京は大きく二つの面に分けられると感じた。一つが人を分けているという点、二つが人、場所を演じさせているという点だ。いずれの東京も、自然発生的ではなく、第三者が介入して作り上げられているものだと気づかされた。

0085	男性	20歳代	写真から考え得る背景、作者が調べた事例、意見などを端的に見られて良かった。字数制限があるかも知れないが、作者の考え・問いをより付け加えれば尚良い作品になると感じた。
0086	男性	20歳代	目をつける場所がすべて面白くて楽しく見ることができた。品川駅においては羽田空港に行く際に毎回思っていたことが書かれていたので、共感した。
0087	男性	20歳代	新宿駅構内の広告に関して、近年ではSNSでの拡散性を考慮された広告は多くありますが、有数のターミナル駅である新宿駅の集客性、アクセスの良さに着目し、遠方から見に来るファンの存在も巻き込んだ広告戦略になっているという考察はなるほどと思いました。
0088	女性	20歳代	04作品の「定置網漁」という言葉のセンスが良いなと思いました。普段こうした光景を目にすることはあっても、社会学的な観点から見ようなことはなかったので改めてこの光景が異様であると感じました。09作品で、私はト一横に対して若者が集まる場所であり、漠然と恐怖のイメージを持っていたが実際には様々な人が集まっていて各々がそこを自分の居場所であると認識していると聞いて、その場所もある人にとっては大事な場であるのだと少し恐怖のイメージが和らぎました。何事も無知であるが故の恐怖があるなと思いました。作品のなかでは過去の作品との関連性を感じられる展示がされていて、そちらも一緒に楽しめるようになっていいなと思いました。
0089	女性	20歳代	05作品について45.6mもあるサイネージなのに写真ではサイネージと人の距離がとても近くに見えたのが不思議だった。サイネージ全体を使って広告している場合も多い上、それを観客も分かっているから互いに空気を読み合ってもっと離れた距離から撮影するものと思っていたので意外だった。
0090	男性	20歳代	休憩所での利用する人々の視線が他の人をうつさず透明人間になれる仕掛けであるとした視点が面白かったです。
0091	男性	20歳代	大型モニターに集まる人々に対して「カメラマン」と「記者」の異なった役割を見ていて面白い視点だと感じた。
0092	女性	20歳代	「自由と管理が入り交じる」という点に着目できる写真を見て、人々のよりどころとなっている部分を完全に塞ぐことができるという状況がすごく伝わるものと感じた。それぞれの人の考える自由は異なるし、人々のよりどころを無くしてしまうとその人のいきがなくなることを示し、厳しくルールを作る側も「治安のため」という理由ではあるが「居場所をなくす」ことでもある。ルールで取り締まることで胸がキュッと締まるような苦しい感情が生まれる。このような人々の大切な居場所の存在があることが自由と管理が入り交じる今の状況を作り上げているのかなと感じた。
0093	男性	20歳代	どの作品も<センス・オブ・ワンダー>を感じる素晴らしいものであったが、特にNo.5とNo.6の作品に興味を持った。この二つの作品は過去の作品と上手く対比がなされている。2010年の作品は流し見で印象に残す広告や立ち止まってQRコードを撮影する広告であったが、新宿ウォール456は14人がスマホを構えて撮った動画や写真をSNSにアップしそれが大きな宣伝効果になる。広告は見せるだけでなく、消費者をも利用する時代になった。ルミネエストの無料休憩所も過去は女性たちが足を投げ出し、知らず知らずのうちに広告になっていたが、今のルミネエストの無料休憩所は人々が透明になることのできる空間へと変わっている。
0094	女性	20歳代	東京人が空間を演出すること、空間が東京人を作り上げることの二つの視点から作品が作られていて、とても興味深かった。
0095	女性	20歳代	好きなアーティストなどの広告を見かけると、ついついカメラを向けてSNSにアップしたりするが、この行為が私たちが記者となり記事を書いていたということに気づかされた。
0096	男性	20歳代	東京駅の駅舎前にはウェディング写真を撮る人たちであふれかえり、上野駅の駅舎前はラブホテルや飲食店へ行くための待ち合わせ場所として機能していたことに驚いた。それぞれの駅にはそれぞれの個性が生まれているということに気づかされた。
0097	女性	20歳代	6の作品は自分にも似たような経験があったほか、自分が「当たり前だ」と思っていたことを考え直すことができ良かったと思う。
0098	女性	20歳代	ルミネエストの休憩所の作品がとても印象的でした。実際に行ったことがあるので想像しやすかったのですが、後ろを通る人と視線が合わないからこそその居やすさがあるということに納得できました。また、全体的な感想としては東京人を観察するだけでここまで街歩きが楽しくなるんだということに感動を覚えました。
0099	女性	20歳代	日常の中でありふれた風景の中でも駅広告、歩道、駅構内などに改めて社会学的な目で注目し、読み解くと、個人の視線からは気づかない社会の個人に対する在り方が見えてくるのが面白いと思った。どれも面白い作品でした。ありがとうございました。
0100	男性	20歳代	3の作品が他の作品との差異化を最も感じる感じるものであった。やはり表参道という街のイメージ通り、写真に写る人皆がブランド品を持っていたり、地元の夜コンビニへ行くような格好の真逆の服装をしていると考えた。連立するお店も景観を崩さないような工夫がされていると感じた。

0101	女性	20歳未満	それぞれの作品が東京という都市の特徴を切り取っていて、とても興味深かったです。東京には人を惹きつけるシンボルが多くありますが、その中でも東京駅の駅舎はウェディングフォトにも使われるほどシンボルに魅了される人々が多いのだなと思いました。また表参道に代表されるようにの歩道街づくりも東京ならではの工夫があるのだなと思いました。さらに、新宿の地下広告は、様々なコンテンツのファンを利用して、新宿駅の集客を増やしているという点が面白いと思いました。
0102	女性	20歳代	全体を通して、駅や特定の施設、その地域への分析がなされている点が良いと思った。ただ、そこから何を考え、今後その場所がどのように変化していくのか、人々がどのように影響され動いていくと予想されるかといった考察があるともっと良いと思った。
0103	女性	20歳未満	6番の一人当たり何時間滞在しているかはなかなか知ることができない調査で面白かったです。
0104	女性	20歳未満	喫煙所あまりなじみがないのですが、少し知ることができて面白かったです。いろいろな人が集まる不思議な空間だなと感じました。
0105	男性	20歳代	1番では駅舎がなしでいる役割(待ち合わせ場ウェディングフォトスポット)を写し出しており、人が集まる理由が何となくわかった。4番では秋葉原のメイド等の状態が写されており、条例違反にならない形で客引きのやり合いを感じた。9番では「ト一横」をわかりやすく写しており、自由と管理の併存という表現がまさにその通りだと感じた。
0106	男性	20歳代	写真に写すことで客観視出来ているように感じた。
0107	男性	20歳代	5番の作品と、その先行研究(2010年度のもの)は時代の移り変わりによって、広告の手法がどのように変化して、人々がどのように誘導されているのかを端的に表していて、興味をそそられる作品でした。不勉強で申し訳ないのですが、私は通信の国文専攻の人間で社会学の専門用語を知りません。「インタラクティブ」のように作品で使われている術語+社会学そのものの解説コーナーがあればより展示を楽しめるのではないかと感じました。せっかくなので各作品のより深い考察にも触れて見たく思います。ありがとうございました。
0108	男性	20歳代	身近の存在するけれど関わる機会のない場所や物事の一部を見られた。
0109	男性	50歳代	東京駅は背景の高層ビルで駅舎が小さくなってしまって残念だといつも思う。(2のおかげで元のようになったのだけでも)
0110	男性	20歳代	この展示自体ポスターで知り、ふらりと立ち寄りしましたがとても面白い展示品ばかりで見ていてふと目を奪われてしまうものが多かったです。特に9作品の中でも3番が好きで、自分もこの場所に行ったことがあること、日常の一コマを切りとった感じがすること、画角がなんとなく自分の好みであったことなどとても好きだと感じる写真でした。もしまた機会があればまた違った展示が見てみたいです。
0111	男性	20歳代	様々な東京の風景を見せていただきありがとうございました！！暮らしていると分からない新たな一面を見ることが出来とても面白かったです。
0112	男性	20歳代	ラブホに行くのにあれて、駅の反対側で待ち合わせしている結果が面白い。
0114	男性	20歳未満	東京での生活を魅力的に思わせる工夫は、こうも色々なところに現れているのかと感心した。地域単位で人の流れや、過ごし方を観察すると、面白い発見があるかもと思うと、今後自分で街を歩くのが楽しみになった。
0115	男性	20歳代	アイドルの人気は凄まじいと感じた。(5,8) 都か区のホームレス対策について興味深かったと感じた。
0116	男性	50歳代	1の作品の上野駅公園口、今まで注目されていないスポットだったので、目からウロコという感じです。日中は人通りが多いのですか、夜間はあまり人がいない所なので、よく見付けたと感心しました。鋭い目です。
0118	男性	20歳未満	表参道はおしゃれな町なので、「歩きたい」と思わせる空間の演出をすることは素晴らしいと思った。
0119	男性	20歳代	どの作品も素晴らしいです。強いて言えば、もう少し作品数があればもっと楽しいだろうなと感じました。
0120	女性	20歳代	東京で生まれ育ったので、なじみ深く面白かったです。時間がなく本当に少ししか見れなかったのですが、お声かけありがとうございました！ゼミの活動がいばって下さい！お疲れ様です。
0121	男性	20歳代	たまたま展示を見ましたが、色んな日本の社会の一面が見れて面白かったです。福祉科の学生なので、福祉に関する展示もなあって興味深かったです。
0122	男性	20歳未満	人気な喫煙場なんてあると思いませんでした。
0123	男性	20歳代	おもしろかった。
0124	男性	20歳代	東京駅をはじめウエディングフォトをとるカップルのすがたや広告の前にあつまるとばかり(警備員が人数などの統制をおこなっている例も)などを東京ですごして日常的に見る機会は何度もありましたがそのことに疑問も注目もせず、当たり前のようにこれまで見てきました。しかし、このような展示を見てよくよく考えて社会の行為はとても興味深く面白いものだと気付かされました
0125	男性	20歳代	普段さわがしい新宿にこのような休憩スペースがあることを知らなかった。憩いの場としての新宿をテーマにして良いと思ったため選んだ。
0126	男性	20歳代	おちついた雰囲気のくつろげる場所があることで人が集まる工夫という新しい観点だった。

0127	男性	20歳代	5番の作品は、デジタル技術の進化に伴った広告の変化を分かりやすく表した作品だった。またその広告だけでなく、我々が毎日使用しているSNSにそれを上げるとで我々も広告は一体になっていることに気付かされる作品だった。
0128	女性	20歳未満	普段何も考えずに通り過ぎている駅前や人だかりの人を数値を使って説明してあって面白かった。理解している社会現象(?)でも、文章にしてみるとなんだか面白い事をしているような気がしてきて、人間の行動は不思議だなと思った。私もオタ活をしているので、8hかけて目当てのものを見に行く気持ちはわかるが
0129	男性	20歳未満	3.景観がおしゃれだと思った。「のぞき見と流し見」に納得できた。
0130	男性	20歳代	1枚の写真12対して長時間お疲れ様です。普段何も考えずに歩いていたりするところでも、色んな見方をすることでどのような人がくるのか、どのようなニーズがあるのかがわかった。都内から離れたところでもやってみてほしい。
0131	男性	20歳代	普段気に留める事のないような何気ない風景が、作品によってそこにある人間社会の複雑さを表現していて大変興味深かった。
0132	男性	20歳未満	実家が埼玉で、そこから大学に通っているの、あまり東京に詳しくなかったのですが、展示作品で知らないことを知ることが出来ました。
0133	男性	60歳以上	見て、感じる、理解できる、そんな写真が大半でしたが、今の東京が抱える社会問題や姿が特に写しだされ、「あっ」と思ったのが、6と9でした。
0135	男性	20歳代	「徹底的に管理された公園」は、確かにとった。
0136	男性	50歳代	過去の作品と対比することで都市東京の動きが見えてくるのがすばらしい。
0137	男性	20歳代	6番と過去作が同じ場所をテーマに作品を作っているが、違う見方をしている面白。同じものでも見る人、時間、時代によって少しずつ変わっていくのも良い所。
0139	男性	20歳代	03.商店街が姿を消す中に「演出された」街並がありふれた風景になるのか、現代なのだろうか。
0141	男性	20歳代	とてもキレイ。
0142	男性	20歳代	東京という見慣れた環境を面白い視点で見て、撮って、考察していると思いました。
0144	男性	20歳代	おもしろかったです。
0145	男性	60歳以上	東京の街並がわかりやすく素晴らしいですね!
0146	男性	60歳以上	東京の今を切り取るそれぞれの視点がおもしろかったです。02のシャプジョン「2番線しかない」(「1番線はない」ということ?)は「2番線までしかない」の方がいいのでは
0147	男性	60歳以上	東京に来て半世紀以上経ちました。どれも懐かしいですね。風景は昔とは変わりましたが、人は変わらないで欲しいです。
0148	男性	20歳代	普段私が通学や散歩で見ている光景は、当たり前すぎて気づいていないだけかもしれませんが、それも立派な学問になるんだを気付くことが出来ました。地理の世界では、土地の歴史や交通の結節点、ビッグデータを使った人の流れの可視化など、地理情報として扱います。何気ない日常、そこには学問が溢れていることを実感できる良い展示だと思います。
0150	女性	20歳代	日常生活では通るけれど写真を撮らない場所の写真をみるのが新鮮でした。
0151	男性	20歳代	社会的一幕を見られて面白かったです。利用時間や人数など細かく分析されていて参考にしたいと思いました。
0153	男性	60歳以上	もう少し作品数が多いと思いました。
0155	女性	20歳代	サブタイトルが面白い。
0156	男性	60歳以上	東京在住なので全ての写真の場所を知っているが、4番の写真「定置網漁」の題名は面白い。
0157	男性	60歳以上	コメント(キャプション)が最高に面白い。今までにない視点があつていいと思いました。
0158	男性	20歳代	人数のカウントなど、その数字がどういう意味を表しているのかよくわからなかった。
0160	男性	20歳代	喫煙所を減ぼしたい。タバコなくなればいいのに。
0164	男性	40歳代	またやってください。
0166	女性	20歳代	知っている場所がたくさんあって面白かったです。
0168	男性	20歳代	写真の細部までよく観察していると思います。5.9番は特に東京特有の現象だと思うのでとても興味深い考察がされていると思いました。
0169	女性	20歳代	無意識の広告機能が意図的に仕掛けられている点が面白かったです。
0170	男性	20歳代	街の何気ない景色のワンシーンに着目するなんてことをしたことがなかったので、ちょっと新鮮で面白かった。
0172	男性	60歳以上	7は喫煙所内に〇〇人、並んでいる人〇〇人と書いて欲しかった。6は椅子の数が激減していた。利用者の感想が欲しい。5は広告がどこにあるかわからなかった、人がいなくなる部分を撮ってみると良いのでは。4はメイドカフェはお客と話している女の子が欲しかった。
0174	男性	20歳代	部外者観察者として外から撮影するだけではなく、実際にその場空間にいる人々に声をかけたり、ディテールを知ろうとする営み、すなわち内に入り込んでいっているという意味で9の作品は特に印象的だった。
0175	男性	40歳代	お疲れ様でした

0176	女性	60歳以上	若い頃働いていた原宿、青山・・・表参道はステータスで憧れの店も多かった。今は裏原宿の方が有名?! トー横キッズは親世代として何か悲しい。池袋の公園の側に梵寿網さんの不思議な建物があります。深掘りしてください。
0177	女性	20歳代	同じ都内でも全然街の雰囲気が変わったりするのが面白いです。高級感のある街だったり少し治安が悪そうな街だったり様々でそれぞれ人それぞれの生活などが広がっていて生活感が見えました。
0178	男性	20歳未満	2で扱われた京急品川駅は3番線までありますし、朝ラッシュ時はほとんど普通が入ります。3で扱われた京急空港線は以前が穴守線という名前で走っていました。触れるのだったらそこまで調べて欲しかった。ただ企画自体は面白いのでまたやって欲しい。
0179	女性	60歳以上	あーそうなのねと改めて納得したことがありました。風景も視点で随分変わるのですね。
0180	女性	60歳以上	普段気にもしないです通っていたりしたところに目を向けるのもとても面白いことだなと思いました。人間観察をするのが私も好きです。皆様思わぬ展示に出会い楽しませていただきありがとうございました。
0181	女性	30歳代	写真の展示のみではなく、写真を撮った方が感じたことが記載されており、見る側が取る側の気持ちを感じることができた。また、インタビューの内容なども記載されており、被写体の背景を知ることができてよかった。展示にあたり準備等大変なこともあったかと思えます。お疲れ様でした
0182	女性	20歳代	作品の完成から会場設営までお疲れ様でした。「東京」に焦点を当てた作品の分析、大変興味深かったです。普段何気なく見ている景色も社会的にこういう分析になるのだと思いました。4年間の集大成が素晴らしいかったです。ありがとうございました。
0183	男性	20歳代	新宿へ行く機会が多いものの、歌舞伎町、トー横近辺は素通りする程度で特別な関心を抱いてなかった。そのため、トー横にインド人パキスタン人がいた事実は興味深かった。勝手に多様性の広場ではあるが、個人にはその価値観は逐養されていない。SNSみたいな場所だと覆っていたが深く掘り下げたら何か閃きがあるのかもしれないなとしみじみ。
0184	男性	20歳代	題名の透明人間になれるという表現が写真の場所のキャッチコピーとして素晴らしいと感じました。
0185	男性	20歳代	普段何気なく見ている風景も写真に撮って切り取って考察すると、色々と面白いことがわかって気づきました。
0186	男性	20歳代	意外に面白かったです。
0187	男性	20歳代	何気ない写真1つ1つにストーリーがあると考えると興味深かったです。
0189	男性	40歳代	今年で新作発表が最後という話をお聞きしたので、栃木から見学にこさせていただきました。HPでは拝見しておりましたが、作品の展示はいいですね。自分たちの頃の桜麗祭での発表や山中湖での合宿を思い出し、とても懐かしい気持ちになりました。私はいまだに新卒で入った日光江戸村で働いていますのでぜひ遊びにお越しください。後藤先生、最後まで全力で駆け抜けてください。お体を大切に! ゼミ性の皆様も頑張り! ありがとうございました。
0190	男性	20歳代	普段自分が目にする事のない世界を覗けてよかったです。
0191	女性	40歳代	久しぶりにお邪魔しました。キャプション懐かしく拝読しました。開催してくださって嬉しいです。展示ばーどが低めに置かれてキャプション・写真ともに見やすかったです。ゼミ性の皆さんお疲れ様でした!
0192	女性	20歳代	6番の作品一長期的な観察が印象的でした。次ルミネに行くときには意識して見てしまいそう。
0193	男性	20歳代	社会的に考察されており、レベルの高さが伺えました。
0194	男性	20歳代	どれもNo.1!
0195	女性	20歳代	同じ東京でも場所によって全く雰囲気が異なり面白いと思いました。また、自分が普段いく場所も視点を変えると違う風景が見えて今度行ってみようと思いました。
0198	男性	20歳代	駅前の夜景が綺麗でまさに東京という感じだった。
0199	未回答	20歳代	自分が知っているところの写真がたくさんあり、思い出が蘇りました。
0200	男性	20歳代	全体的に知っている場所と知らない場所があって新たな発見ができた。自分が普段気にしないような視点から街を見られてよかった。
0201	男性	20歳未満	とても良かったです
0203	女性	20歳代	大変面白く興味深い展示でした。NO1・3・4は街並み、NO5・8は東京のエンタメ、NO6・9は居場所としての東京というように東京だからこそその魅力が共通しているものであり、その象徴がNO7の写真に詰まっているように考えた為7を選びました。7は居場所として個人のエンタメが日常にあたりまえの光景として存在、東京に溶け込み、NO5・8のエンタメやNO1・3・4があるからこそ東京に集中する人口が見ることが出来る。全ての写真が付随する関係にあることも驚きましたが、一見繋がりが無いことでも繋がっていると展示から考えることが出来ました。どの写真も着眼点や日常の中の東京を可視化されていて面白かったです。東京のことをもっと知りたくなりました。
0204	男性	20歳代	トー横という近年注目を集めているものを取り上げていて興味をひかれた。
0205	男性	20歳代	トー横らしい写真だと感じた。ホームレスが多いことに驚いた。

0206	女性	20歳代	自分が立ち寄ったことある場所も多くなかもその場所に対して考えたことがなかったけれど様々な見解が並べられていて面白かった。
0207	男性	20歳代	すごく興味深い内容が多かったのもっと多くの過去作品も見てみたい。
0209	男性	20歳代	説明も簡潔で面白かったです。
0210	男性	20歳代	2回目だが今回も全く飽きなかった。皆さんの根気を感じる事が出来た。
0211	男性	20歳未満	06の写真と説明を見て日本人が普段から人目を気にしてストレスを感じているんだなと思いました。
0212	男性	20歳代	1番の商業施設と一体となっていないような駅舎は建物自体の形が見えることでそれだけで観光地になることが感じられた。そこになにかがあるかよりもそれがあるところから移動していくようなイメージを持った。9番は管理や統制が厳しい都会の真ん中に自由の居場所を求める人々のジレンマを感じた。その併存はまさにかろうじてという表現が合う危うさを含んだ社会性の象徴だろうと考える。
0217	男性	20歳代	色々な視点から考察されていて題名を見ただけで面白そうだなと思いました。
0218	男性	20歳代	後藤先生の授業の学びが非常に活かされていると感じました。今後活かしていけそうです。
0219	男性	20歳代	色々と興味深い内容のものが多くみて面白かった。
0220	男性	60歳以上	立川とか青梅も面白いよ
0221	男性	20歳未満	大通りでの活動調査は大変だっただろうなと思われるがとても貴重で良いデータだなと思った。
0222	男性	20歳未満	写真とそれに対するコメントが的確で見て面白かった。
0223	男性	20歳代	秋葉、新宿、渋谷、東京駅など狭い山手線内の中で東京は様々な場所がありそれぞれ人々の空間、雰囲気、移動、広告の演出が独自に作られていると思いました。
0224	女性	50歳代	写真により可視化・可視化することでそこにある問題が浮かび上がってくることを大変興味深く思いました。
0225	男性	20歳未満	とても面白かった。
0226	男性	20歳未満	見たことのない、東京の風景がみれてよかった。
0227	男性	20歳未満	表参道での人々の動きや新宿の休憩所など普段はなんて事のないように見える都市のものをよく観察すると面白さを見つけることが出来るところに感情を動かされました。普段品川を使っていますがここまで記事のネタに出来るとは思っていませんでした。びっくりしました。
0228	男性	20歳未満	3→上り坂を辛くではなく視線を上に向かわせることで購買意欲をかきたてているという考察がよかった。9→トー横は若い男女が集まっているという認識だったが外国人やOLのような人までいることを知って驚いた。
0229	女性	50歳代	ゆっくり見たかった。ごめんなさい。
0230	女性	20歳代	何気なく目にして日常の風景をここまで分析できるのがすごい。自分が通ったことのある場所ばかりだったので次から通るとき意識してみる
0231	女性	20歳未満	とても興味深い作品でした。
0233	女性	20歳代	各作品のサブタイトルがおもしろく、興味深かった。特に作品4は秀逸で思わず笑ってしまった。
0234	女性	50歳代	東京の変化についてとても関心のあるテーマで興味深く拝見しました。コロナ以前以後についてはテーマ外だったのかな？又は調査時間や平日休日等何か比較対象があれば一層関心持って読んだりみたり出来る気がします。
0235	女性	20歳代	後藤先生の様々な授業を受けていた1学生として学生でもこんなところに着眼点があるのだと感じることが出来て面白かったのと同時に、自分はまだ勉強が足りないと感じた。空いている時間に見に来てよかった。
0239	男性	20歳代	混んでいる道にストレス感がある。あまり好きではない。
0240	男性	20歳代	何気に歩いていた町が建物への意義、宣伝などを写真というその一段の動作をわかりやすく興味深いと思った。
0241	男性	50歳代	時間をかけてしっかりと調査をしていて感心しました。
0242	女性	50歳代	第30回写真で語る東京の社会学展 後藤ゼミナールの研究調査の軌跡を感じる充実した展示発表会でした。ありがとうございます。
0243	女性	20歳未満	私にはない視点を持ってとても興味深かった。駅のホームを見た時にただ単に駅だと思っただけではなくその駅の便利さ不便さを記述したり、駅に集まっている人々を観察したりとすごく面白い作品が沢山あった。公園の写真から写真を見ている人に問かけるような文章を書いていて写真一つで様々な事を伝えられるということに驚いた。
0244	女性	20歳未満	写真を見ることによって考えられることがあるということを知ることができた。透明人間になれる無料休憩所というタイトルが良いなと思った。徹底的に管理された公園を見て追いだされたホームレスはどこに行ったのだろうかと考えさせられた。
0245	女性	20歳未満	写真に添えられた説明から撮影者が発見した事伝えたいことが詳しくわかりました。
0246	女性	20歳代	写真に対しての言及や調査を行ったことなどが短い文章に書かれていて読みやすかった。全体的に筆者の完結した考察で終わっているため、読者に考えさせるような終わり方だと更に楽しむことが出来ると思う。

0248	男性	20歳未満	NO6の無料休憩所についての考察がとても興味深かった。通路に対して背を向けるような椅子の配置には通行人と目を合わせなくて済むという興味深い気づきを得た。
0249	女性	20歳代	特に5の方の群がる人々はカメラマン+記者の役割を果たしているという気づきが素晴らしいと感じた。ファンはただ楽しみに来ていても無意識に社会的意味が付与されているのは新宿ウォール4 5 6の戦略的勝ちだと思う。
0250	女性	20歳未満	私は上京してきたので東京のなにもかもが真新しく見えたり一方で汚く見えていたりしたが社会学という自分の中にない目線で東京を知り、私も東京の一部だったんだと俯瞰して見ることができどの作品も面白かった。
0251	女性	60歳以上	04作品：集団でいることのある存在感を持つのがメイドだったとしたら意外だし客だとしたら納得します。06作品：都会の人々は集団行動をしたいのか、一人になりたいのかわからない。奈良に住んでいるので自然の中、日々満喫しています。
0252	男性	60歳以上	06作品：以前は喫茶店があったと思うがこんなになっていたのか。ちょっと意外。
0254	女性	60歳以上	「昭和の風景」を見に来ました。写真として美しいとかではなくて資料として50年後それがどう見られるのだろうかと思いました。
0258	女性	20歳未満	01作品：東京駅・上野駅の独立した外形を普段意識して見ていなかったが、新宿駅などの商業施設と一体となった駅と比べてとても写真映えすることに気づいた。
0259	男性	20歳代	おもしろかった。
0261	男性	20歳代	02作品：人々が颯爽と歩いている姿は東京ならではの風景ということを再確認できる良い経験となりました。
0263	男性	50歳代	構図が安定している写真。
0264	男性	20歳代	街中の写真に感じるものがありました。懐かしさを感じるものでした。
0265	男性	30歳代	学生が社会に関心を持つことが、とても良いと思いました。なかなかできないことだと思う。
0267	男性	20歳代	01作品：東京と上野の間に住んでいるので親近感が湧きました。
0269	男性	20歳代	日常に潜む無意識を写真と文章に落とし込む作業に学問と芸術の共存を見ることができた。撮影者が展示にて談笑しているのを聞いて興奮してしまったが、興味深い取り組みであったと感じる。
0270	男性	20歳代	とてもおもしろかったです。また参加したいと思いました。
0271	男性	20歳代	生活の中では考えることも注目することもない点に目を向ける機会になった。特に01作品のラブホテルとカリアルですね。
0272	男性	20歳代	常に移り変わる東京の景色を写真に収めることで、普段日常生活の中で目に留まることのない、入ってこない情報を知ることができました。特に、東京駅や東京ドーム、トー横等「東京」を代表する場所に目を向け写真を撮ったからこそ分かることについて言及されていて良かった。
0273	男性	20歳代	08作品：写真の風景が好きだった（空の色・観覧車・群衆）。ドームのすごさ（集客）を伺えた。
0274	女性	20歳代	01作品：待ち合わせしている2組を追跡する！など実際に行動しているのが面白かった。
0275	女性	20歳代	普段気にしていなかった場所や事に関心を持つことができました。
0276	女性	20歳代	それぞれのテーマごと実際に現地へ行って調査されており、分かりやすくまとめられていて見やすかったです。06作品：どのような調査をしたのか気になりました。（ずっと居座ったのでしょうか？）
0277	男性	20歳代	03作品：表参道の歩きやすさは街づくりによるものだったことはとても勉強になりました。
0279	女性	20歳代	何気なく普段目にしていない風景の写真と共に添えられたキャプションが様々な視野で分析しているのが面白かったです。何でもない風景にも色んな営みや意図があるのだと学ばせて頂きました。
0280	女性	20歳代	09作品：「トー横」は治安が悪いというイメージしかなかったのですが、作品を見て孤独を感じる人々が交流を求める場でもあるということを知りました。場所として守られ続けて欲しいと思います。
0281	女性	20歳代	椅子に座っている女性の足や持っているショッピングバッグが広告になるという目の付け所に驚きました。たくさん知っている場所が取り上げられていて見ていて楽しかったです。
0284	女性	30歳代	普段なかなか社会学と接する機会がないのですが、こんな身近なところで展示をしていただけて興味を深めました。これからもこのような機会を楽しみにしております。ありがとうございます。
0285	女性	60歳以上	06作品：ゆっくり休憩ができそう。
0286	女性	60歳以上	07作品：喫煙所待ちの気持ちがわかる。
0287	男性	20歳代	09作品：「トー横」は学問的なテーマの宝庫で地域性に留まらない形での考察が立てられるだろうと思いました。06作品：ルミネエスタの休憩所や新宿駅前広告についての展示は、見ていてなるほどと感じました。04作品：秋葉原の大通り沿いを立つ人々を定置網魚と例えていたのが面白かったです。
0288	男性	20歳代	08作品：東京ドームの下にあるハンバーガー店はとても混んでいるので共感できました。
0289	男性	20歳代	09作品：自分はよく新宿に行くのですが、トー横に集まる人々をよく見かけます。この混沌とした世界をよく表現している良いものかと感じた。
0290	男性	20歳代	自分の最寄り駅があって、思った以上にきれいなんだと感じた。

0291	男性	20歳代	09作品：トー横の人達は、家に居場所がない人たちばかりだと思っていたが、IT系の人も来ることがあるんだなあと思った。
0292	男性	20歳未満	写真の細かいところまで考察されていてなるほどと思うところばかりで素晴らしかった。
0293	男性	20歳代	社会学のエッセンスと視覚的に体験でき、不思議な気持ちになった。
0294	女性	40歳代	東京の色々なことが知れておもしろかったです。
0295	女性	50歳代	いつも何気に通っている場所をととても詳細に分析されていておもしろかったです。
0296	男性	40歳代	とても価値のある展示を拝見できました。ありがとうございました。
0297	男性	30歳代	05作品：2010年と2023年のデジタルサイネージ広告の変化を辿ることができた。デジタル技術の発展が広告の表現の幅を広げ、企業のマーケティング戦略の手法の増加につながっていることがよくわかった。09作品：調査にあてた時間と労力が最も大きかったのではないかな。厳しい管理、監視の中でトー横でくつろぐ人々は「ここが居場所」と言っていたが、人々に囲まれた中でくつろぐのは本来的ではないように思えた。とにかく、人恋しい人々が集まってきているのがトー横前なのではないかと解釈した。
0298	その他	20歳代	過去作品との比較によって、形が変化しても（広告など）人の行動の原動力や動き、方向性などは大きく変化しない様子が見てとれた。写真の撮影場所はもちろん、時間帯も異なっており一日を通して人を引きつける東京の特異性を感じられた。
0300	男性	20歳代	人生の生活が全体に上手に写真に写っていて躍動感があると感じました。
0301	男性	20歳代	サークル終わりによく見かけていた光景なので4番を選びました。懐かしいです。
0302	男性	60歳以上	全体のテーマはありますか？建築物あるいは施設がどの写真にも大きな位置を占めているようです。自然などをテーマにした写真もいかがでしょうか？
0303	女性	20歳代	エモかった。嵐のファンだったので8番には懐かしさを感じた。
0305	男性	20歳代	6番の場所は僕も行きたいと思いました。大都会で静かにできるのは良いですね。
0306	男性	20歳代	着目しているところが面白かったです。いろいろな社会があるんだなと思いました。
0307	男性	20歳代	普段何も考えずに見ている風景から人間の行動、表示の意味などを考えるという初めての学びでした。
0308	男性	20歳代	喫煙所をオアシスと表現しているのが好きでした。
0309	女性	20歳代	6番はよく立ち寄り場所ですが、知らなかったので行ってみたいと思いました。また、何人立ち寄ったかなどを合計していて、すごく大変だっただろうと思いました
0311	男性	20歳代	写真からその場のリアルな雰囲気が読み取れました。撮影する距離感も近めでよかったです。
0312	男性	20歳代	行列に参加しようと思いました。
0313	男性	20歳未満	綺麗でした。
0314	女性	20歳代	長い間東京に住んでいますが、知らない光景ばかりで驚きました。ルミネに無料休憩所があるのは知っていましたが、それが広告の役割を果たしていることを知り驚きました。
0315	男性	20歳代	日本の現状を知れた。びっくり！！
0316	男性	20歳代	社会学って感じがしてよかったです。
0317	男性	20歳代	「4色の粹」のサブタイトルが非常に良かったです。
0318	男性	20歳代	日比谷や有楽町付近の映画館によく行くので、東京駅のライトアップされた風景には毎回圧倒されている。11月下旬に丸の内仲通りを歩いたが、そこのイルミネーションもとてもきれいで、ウェディングドレスを来た人たちも多かったです。私は飯田橋駅近くのカフェでバイトをしているのだが、東京ドームでイベントがあるときは毎回混むのであらかじめイベントスケジュールを確認してシフトを組んでいる。
0319	女性	20歳未満	東京の綺麗などころとそうでないところどちらの写真もあり、よりリアルな東京を感じられてよかったと思う。説明を読むと写真の場所がどんなところなのかを知れて、東京という場所がどういうところなのか分かる気がした。私も東京に住んでいるが、まだ知らない場所や風景画たくさんあると感じることが出来た。
0320	男性	20歳未満	新宿駅の映像広告ゾーンには多くの人が集まって写真を撮っているところを何回も見たことがあるので、その極致のような写真を見てすごいと思った。コメントの広告戦略を見て納得がいった。
0321	女性	20歳未満	集まっている"人"に注目している作品が多く、普段は気にして生活していない部分なので面白かったです。
0322	女性	20歳未満	透明人間になれる無料休憩所はアイデアが斬新で自分も行ってみたいと思いました。
0323	男性	20歳代	東京をよく表しているいいと思います。東京は他人への関心が低いので、他人とのつながりが薄くなっていると感じます。とてもいいものでした。
0324	男性	20歳未満	この広告を見たことがあった。遠征した人がいたとは。
0326	女性	20歳代	様々なシーンの写真が多く、見ていて楽しかった。普段なら通り過ぎてしまう部分に焦点を当てており、興味深い。特に1番は何気ない風景だが、様々な人の思い出が感じられる作品だった。
0327	女性	20歳代	通行量も多く、広範囲にわたって写真などの広告がされていると思うが、駅の一部分が紫色で染められているのが視覚的にもかなり印象的で幻想的な空間であると感じた。

0328	男性	40歳代	久々に対面での実施、パネルをレンタルしてということもあり、いろいろ初めて尽くしという所も多かったと思いますが、スペースと相まって「座って見渡す」ということが以前より行いやすく、これはこれですべての展示をひくくめる「東京性」が伝わりやすいように思いました。「移動」し「集う」「滞留する」そして「散らばる」というつながりが例年以上に伝わりやすいように感じました。
0330	女性	20歳未満	6番の作品はいつも通っているルミネを新しい視点から考えているようで面白かったです。
0331	女性	20歳代	京急に毎日乗っているので客観的に見られてうれしかったです。
0334	男性	20歳代	ト一横というのはSNSなどのワードでしか見たことなかったので実際に写真で見れて良かったです。
0337	女性	60歳以上	今の東京をよく表している。いったことがない場所も近い所のように感じた。
0338	女性	20歳代	東京のライトアップはいつ見てもきれいだなと感じました。
0339	女性	20歳代	東京の景色の魅力と人の多さに気づかされた。
0340	男性	20歳代	東京の治安の悪さが際立っていてよかった。
0341	男性	20歳代	東京ドームや東京駅の事を知れてよかったです。
0342	女性	20歳代	表参道の歩きたいと思わせる空間という言葉のセンスがいいと思った。
0343	男性	20歳代	1番は壮大な景色の片隅にウェディングフォトを取っていたのが素敵だった。6番は今まで意識せず通ってきた場所で、「『透明人間』になれる」という新しい視点を見ることが出来て面白かった。
0345	女性	20歳未満	普段気にしたことのない視点だったり着目する場所が面白いなと思いました。どれもいい作品でした。
0346	男性	20歳未満	定置網漁や透明人間のような比喻が特に面白かった。
0348	男性	20歳代	一つ一つの写真に背景があって、それを分析しているのがよく伝わってきました。一見どうも感じない事柄に対して研究されていて考えさせられることが多かったです。
0349	女性	20歳未満	気にはなるものの、実際にデータをとり、実情を知ろうとすることはあまりないため、へえ〜と思うことが多かった。特に秋葉原のメイドに関して、4時間立ちっぱなしな人がいることに驚いた。
0350	女性	20歳未満	どの作品も見ていてとても面白かったですし、普段何気なく通っている場所でも、一度立ち止まって目を向けて調査してみるとこんな分析ができるんだと勉強になりました。他の学科さんの研究を拝見することは中々ないので、面白かったです。ありがとうございました。
0351	男性	20歳未満	最近喫煙所が減ってきているなか、数少ないこういう町中にある喫煙所がサラリーマンとかにとってみれば貴重なのだと感じた
0352	男性	20歳代	作品NO.1特に上野駅の写真は、一見すると地味であるが女性が等間隔に座っている点が面白いと思った。NO.4はサブタイトル「秋葉原の定置網漁」が秀逸であった。その他の写真も写真と文章と往復してみると新たな発見があり面白い思った。
0354	男性	20歳代	東京の一つの場所で色々なことが読み取れていてすごいと思った。
0357	女性	20歳代	新宿の広告のために大阪から夜行バスできた21歳女子大生の行動力は見習おうと思った。
0358	女性	20歳代	東京というにぎやかな中に「6」のような休憩所があり、居心地の良い無料スペースがあるという点がいいなと思いました。また、それらが女性が多く足の広告となっているのも面白いなと思いました。他の作品も日常的にあるものを様々な視点から見て考えられていて、その場所への印象が変わりました。とってもどれも素敵でした。
0359	男性	20歳代	写真って深いですね。
0360	男性	20歳代	写真があることで興味がなくてもみやすかった。
0361	女性	20歳代	日常的にみる一コマをあらためて見直すと面白い！！
0362	男性	20歳代	どの作品も、日本のよく見かける風景を映し出して良かった。
0363	女性	60歳以上	根気のいる調査でお疲れ様です。地道な活動が大切だと感心しました。
0364	女性	20歳代	ルミネにはいつもも言っているのでおもしろかったです。
0366	男性	20歳代	その場所の役割や周辺の建造物との関係性によって、そこに来る人々の数や性別、年齢、目的が異なってくることに面白さを感じた。
0367	女性	20歳代	普段から見ている風景なのに、しっかりみると残酷だったり、不思議だったりすることが多かったです。説明を読んでから見ると、読まずに見るのでもテイストが変わって面白かったです。
0368	男性	20歳未満	展示作品といわれると、誰もキレイなものを展示したいと思いがちだが、この作品は東京のリアルな部分をしっかりと伝えられていると思った。
0369	男性	20歳未満	品川駅もそうですが、小さいころから京急線の色分けが電車における標準だと思っていたので、そうでは無い方からの視線は新鮮で面白かったです。 5番の広告産業への考察に関心しました。ネットが発達しても我々が野次馬根性を持つのは人だかりに対してでるものね。
0370	女性	20歳未満	言葉選びが面白かった。
0371	男性	20歳未満	現地の人に直接インタビューをしている点がいいと思いました。

0372	女性	20歳未満	私もよく利用するので、興味が湧きました。
0373	男性	20歳未満	一見、日常の風景を映しただけかのように思える写真でも、知識の豊富な人から見ると様々な見方のできるのだと感じた。中でも5番の「拡散で意味をなす広告」という作品には非常に共感できた。今やSNSは広告の要とも言え、そこに企業が直接ではなく、一般の人が情報を発信することで、より人々の興味を集めることができそうだと考えた。また、広告に集まる人々はSNSに広告を流すだけでなく、その集団そのものが人々の注目を集める一種の広告になり得そうと思った。
0374	女性	20歳代	2番については、普段何気なく歩いている品川気に歩行者が歩きやすい目的地に到着しやすい工夫がなされているということを改めて実感した。 9番について、管理と自由の併存という言葉に惹かれた。なぜ管理されている空間があそこまで自由な空間と化すのかとでも不思議に思う。
0375	女性	20歳未満	私も良く都内を利用して、移動する際に「少し歩こうかな」と思い、お散歩することが多かったので、「歩きたい」と思わせる空間を作っていたという説明に納得しました。
0376	女性	20歳代	東京ドームシティのファン層によって色を変えるという点に共感した。
0377	女性	20歳代	普段気にとめない日常の風景から様々なことを読み取ることができると知りました。
0378	男性	20歳代	喫煙所が減り続け、喫煙者の肩身がせまくなっていることが記事を見て分かった。多くの税金を払っているのだからもう少し優しくしてもいいのにと思っている。
0379	男性	20歳代	馴染み深い街の一角をいままで何とも思っていなかったが、新ためて観察すると面白い一面や見方ができることを知ることができた。
0380	女性	20歳未満	同じ東京の土地の狭い街なのに、雰囲気全然違うと思った。
0381	男性	20歳代	人間観察たのしそう。僕は人を見るのが好き。
0382	男性	20歳代	広告をあえて一つだけにすることで皆がそこに注目し、SNSなどで拡散して、結果として低コスト(?)で、絶大な影響になてちるのはとても策士だと思いました。キンプリ最高!!
0383	男性	20歳代	コロナ禍で人数制限がされている、分煙、喫煙の流れなど様々な現代の東京の性質が重なってできている現象であるために、とても面白いと思った。
0384	男性	20歳代	6の写真のような休憩所は、人の芽を過度に気にしがちな現代において、良い工夫がなされていると感じた。7についても、喫煙に厳しい世の中で、多くの人がマナーを守っている様子は、分煙という概念が定着している証拠だと思う。
0385	女性	20歳代	日本の裏側がありのままにうつしだされていて現実味のある写真だった。日本の裏側が見れた感じがしてとても響いた。
0386	女性	60歳以上	風景ではなく、そこにいる人間を撮っているところが面白かった。同じ場所で、ずっと撮り続けてみては?と思いました。
0387	女性	20歳未満	自分も東京ドームでのライブに行ったことがあったので、なつかしさもあり楽しかったことも思い出して選びました。
0388	男性	20歳未満	1.3共にオシャレを意識した町づくりがされているとは思っていたが、実際に人の数を初めて知ったので、本当に人々がそれを求めて訪れていることを初めて実感した。
0389	女性	20歳代	社会学に関して、どのようなものかもあまり知識がありませんが、パネルの内容を見てみると、たくさんの人の動きが分析されていたり、どんな目的があってそういう行動に至っているのか詳しく書かれていてすごく面白かったです。 自分が今まで知らなかった場所や、あまり関わることのなかった職種?の人たちの話も知れてすごく良かったです。
0390	男性	20歳代	ト一横キッズ以外にも人がいるというのは知らなかった。また、キッズ以外の人に焦点を当てている点は良かった。
0393	女性	20歳代	同じ大学生とは思えないくらいちゃんとしててすごいと思った。
0394	男性	20歳未満	全体を、一通りみて、私は生物多様性のようなものを感じた。「東京」という有界な場所に限りなど多様性が入っていて面白かった。
0395	女性	20歳代	透明人間になってみたいと思いました!
0397	女性	20歳未満	1~9番まで見たことないものはなかったが、それぞれ取り上げて考察すると面白かった。電車は本当にわからないので、全国で色分けしてほしい。
0401	男性	20歳代	東京・上野・東京ドームなどいったことのある場所で、普段見ない・注目しないような着眼点からの視点で、語られている文章が大変興味深いと感じました。「ト一横」という時事的にも注目されている場所も興味深いと感じました。
0403	女性	20歳代	普段はあまり目にとめない風景でも、1つ1つの写真に様々な考えられる事があり、とても興味深かったです。自分も少し意識して街を歩きたいと思います。
0404	男性	20歳未満	1枚の写真にたくさんの情報が詰め込まれていて面白かったです。
0405	男性	未回答	東京には色々面白い場所があっていい場所だと思った。
0406	男性	20歳代	9番の写真はなんだかアメリカにかつて在住したヒッピー文化に似ているような所があると感じました。

0407	男性	20歳代	日常の中にも考えれば深い意味を持った物が多くあった。
0408	女性	40歳代	自分の目線と違ってすごく面白かったと思いました。新たな発見がたくさんありました。
0409	女性	40歳代	3番表参道を歩きたくになりました！
0411	男性	20歳代	これから川崎をよろしくお願いします。
0412	女性	40歳代	日頃、意識していない風景も注目してみると興味深かったです。
0413	男性	30歳代	ぜひ、この作品作りを通じて得た考察を論文化して頂きたいです！
0414	男性	20歳代	1.場所の性質や構造に注目し、そこに来る人々の行動の調査をもっと見てみたいです。3.表参道を歩く人々の服装に着目したのは面白かったです。4.集客もしているメイドが日常的である秋葉原の風景を切り取って改めてメイドを異化しているのは面白い試みだと思いました。
0416	女性	20歳未満	表参道や東京駅などの一般的に表感じられるような場所の写真から、ト一横や九段下の喫煙所などのあまり陽の当たらない場所と、様々な東京の風景が見れて、とても魅力的な展覧だと思いました。
0417	男性	20歳未満	姉さんが輝いてました！！作品も独創的で良き。
0418	女性	20歳代	今時の問題について改めて考えさせられた。
0419	女性	20歳未満	1の待ち合わせした2組を追跡したのがおもしろかった。
0420	男性	20歳代	自分に関わる事や普段から疑問に思っていた内容が多く「それぞれ！！」と共感出来るものが多かった。
0421	女性	20歳未満	ト一横の写真が一番好きでした。
0422	女性	20歳代	透明人間になれるという表現の仕方が、周りの目を気にせず休憩できる感じがしていいなと思いました。
0423	男性	20歳代	作品を見て表参道を歩いてみたいなと思いました。
0424	男性	20歳未満	姉さんの集客能力が凄い
0425	女性	20歳未満	喫煙所に行列が出来るの面白いと思いました。
0426	女性	20歳未満	普段しっかり見ない東京の様子がよく見れてきれだった。
0427	女性	20歳代	ト一横は問題視されているので気になった。
0428	その他	20歳未満	良きです^^
0429	男性	20歳未満	ト一横想像しているよりも荒れていた
0430	男性	20歳未満	ト一横は行ったことがなかったが、どのようなところか知れてよかった。ニュースで見た事があったが、子供達の逃げ道のよな場所であると思っていたが、普通にホームレスもいるんだなと思った。
0431	男性	20歳未満	見やすかった。
0432	男性	20歳代	日本の現状を知ることが出来た。
0433	男性	20歳代	素晴らしい作品です
0434	男性	20歳代	現代社会における自由と管理のテーマの中で、今問題視されているト一横を通して、その現状に触れられたのでよかった。
0436	男性	60歳以上	風俗が興味深かった
0437	女性	20歳未満	普段なかなか意識しないような部分をみる写真が多くてとても面白かったです。直接場に出向くのと展示の写真のみでは感じることも変わりそう。
0438	女性	20歳未満	喫煙所の作品を見て、道路にて交通ルールが守られている状況と似ていると思った。交通ルールはTHE公共のための重い規則という感じがするが、この喫煙所のよなおそらく簡易的なルールも守られているものなんだなと思った。国による違いもありそう。
0439	男性	20歳代	「チョコがもらえる」とのことで来場しましたが、とても面白かったです。第30回とのことで、後藤ゼミナールの歴史を感じる素晴らしい展示でした。
0440	男性	20歳代	写真がとても面白く、それについてよく言及されていると思いました。
0441	男性	20歳未満	それぞれが東京都内の駅やその周辺の写真であるにも関わらず、全てが違う趣を感じさせて、とても興味深く感じました。洒落たものから憂き世のようなものまでありながら全てが公共の場として煩雑なようでも、その中に日常や生活の一面があり、とても面白かったです。
0442	男性	20歳代	私は上京してきた身なので9作品とこにも実際に訪れたことはないのですが、どれも素晴らしい作品で、東京を旅行したような気分を味わう事が出来ました。
0444	男性	20歳未満	1枚の写真から、そこに写る人達が共通して持っている性質や地域の特徴などが読み取れ、写真1枚でこれだけ多くの事を伝えられるかと思いました。
0445	男性	20歳未満	透明人間になれると書いてあるが、僕としては人混みの風景を見ながら人混みの中くつろげるという感覚がわからなかった。くつろぐとしたら家か近所の土手でねころぶくらいしか考えられない。この人たちは家より東京のごちゃごちゃした雰囲気休めるという事は家に何かしらの不満があるのかなと思った。けど、イスはいいイスっぽいので家に一個ほしい。
0447	女性	20歳代	東京ドーム好き
0450	男性	50歳代	底辺興味深い企画でした。社会の在り様を一枚の写真から切り取る事でそこに生きる東京が見えました。

0451	女性	20歳代	通学中や遊びに行くときに何気なく通り過ぎた風景を切り取って写真から撮影者が見出した意味を文章からうかがうことができて面白かったです
0452	男性	20歳代	時の流れが写真を並べることによってわかるのでよかった。
0453	男性	20歳代	一つの写真で様々な姿が見られ東京の面白さを感じた。
0454	男性	20歳未満	個人的には7番の人気喫煙所の写真が気に入りました。今では場所がすごく減少してきているし、タバコを吸う人たちの「今」が伝わってくると感じました。
0455	女性	60歳以上	毎年続いていてすごいですね。今年も楽しませていただきました。
0456	男性	20歳代	喫煙所に行列を作る人々が思いのほか和気藹藹としているようすだったことがイメージと異なり印象に残った
0457	女性	20歳代	9：トー横に行ったことはないのですが、東京の自由な感じといろんな決まり事に規制されている感じが表れてよいなおもいました。
0458	女性	20歳代	ぱっと見、惹きつけられたのが一番の写真でした。暗い中で光が映えているのですてきだったし、白いドレスがまた光と同じで暗い中で目立つので素敵です。高いビルが上の方に視点を持っていくのも良いと思いました。
0459	女性	20歳代	トー横キッズというワードはネットでよく話題になっているので興味を持ちました。
0460	男性	20歳代	タバコ大好き
0463	男性	20歳未満	普段何気なく過ごす場所も切り取れば深い意味があると思いました。
0465	女性	20歳代	自身は言語景観について研究しており、関連性を感じたため来場しました。普段流し見してる風景についてよく考えるきっかけになったと思います。見ていてとても面白かったです。
0468	男性	20歳代	都市空間とそこに生きる文化の関係性について展示作品を見て各々の経済的努力の影響について得に感じました。これらが日本独自の社会的象徴なのか世界共通のものについてはとても興味を持ってました。
0469	女性	40歳代	学生の研究が見られてうれしい。大人になると学問に触れることが少なくなってくるがこうやって学んでいる若者の気配を感じてよかった。
0470	男性	20歳代	普段私たちが訪れている場所には表面の景色では感じることでできないストーリーが隠されていて、それを無意識に訪れた人が感じ取っている。いわば「無意識の中の無意識」というものが発生している瞬間であるといえる。
0471	女性	20歳未満	何回見てもよきです。
0472	男性	20歳未満	こないだ、歌舞伎町タワーでw.o.dのライブを見に行きました。トー横はホームレスが多かったです。
0474	女性	20歳代	トー横界隈のひとたちは、何かしらの事情があって集まざるをえないので、複雑な気持ちになった。
0475	女性	20歳代	トー横の問題は今話題になっているのでどうにか解決するべきだと考えさせられた。
0476	男性	20歳未満	オーバードーズはしないように気を付けたいなど、思いました。
0478	その他	20歳代	僕も時には透明人間になりたいです。いつてみたいという思いがあります。良い発見でした。ありがとうございました。
0479	男性	20歳未満	トー横に行ってみたいなど思いました。
0480	女性	20歳代	素敵な写真だらけでした。どれもみたことのある風景で特に①の作品は目で見ても写真で見ても魅力的でした。ありがとうございました。
0481	女性	20歳代	どれも東京の景色、日常の風景の写真で素敵だと思いました。
0482	男性	20歳代	整頓された町のすぐ近くにラブホテルや飲み屋など雑多な空間が共存しているという展示は国土の狭い日本をとらえられているように感じた
0484	女性	20歳代	2015年度の作品も併せてみるのができ時代の比較もできてよかった。
0485	女性	20歳代	日本では喫煙所について厳しく規制されているがこのような少しニッチな場所に目を向けること自体がおもしろかった。
0486	男性	20歳未満	チョコレートに含まれているポリフェノールの効力には血管の老化する予防する働きがあります。
0487	女性	20歳代	普段自身も目にすることが多い。この展示作品に目を惹かれました。また、色合いにも引き込まれるような力があると思います。

0488	男性	20歳代	特に6の作品を面白いと思いました。コロナ禍で人目をさけるひが増えているため、需要性は高い。また、5と6は関連性があるように感じ休憩所において広告競争が活発になるのではないかと考えた。休憩所も立派な商業施設であると印象付けられた。喫煙所は広いところではなく（下北沢駅のような）写真のように少し入り組んだ場所の方がその効果を発揮しやすいのではと感じた。どれもすごくおもしろかったです。
0489	女性	20歳代	日常風景の中の細かな工夫や気づきを写真の文章を用いてきれいにまとめてあり、とても見ごたえがあった。
0490	女性	20歳代	2010年度の「無料休憩所に仕掛けられた広告機能」という作品はまず、写真を見て一番最初に足に目が行き文章を読んで客が無意識のうちに広告になるという視点が面白いと思いました
0491	男性	20歳代	多様な角度から「東京」をすべての作品から感じる事ができた。9では管理と自由が入り混じっていることを視覚的効果によってまざまざと感じさせられた。色彩豊かに彩られる東京もあれば、スマートに整理された東京もあり、さらに著しく乱れた東京もある。そこに東京の魅力を感じる事ができた。
0493	男性	20歳代	全部の作品が今の東京を表していて1枚の写真から状況を見ることができ、よかったです。特に2番の写真を見たときには色分け（方面ごとに）されていることを初めて知りました。以前品川駅に行ったことがありますが、床に工夫が施されていることには気づかなかったので1つ勉強になりました。
0494	男性	20歳代	働く喫煙者たちのオアシスという題名が素敵だった。自分も喫煙者なので他の人達がマナーやルールを守り、喫煙者のイメージを下げないようにしてくれていることに感謝です。
0495	男性	20歳未満	現代の社会においての問題を明確に表している。
0496	男性	20歳未満	作品に対する題名が素晴らしいと思いました。
0497	男性	60歳以上	2.6を良いとしたのは現在（2022～2023）と約10年前（2010）との対比を展示しているという点にあります。東京ドームシティ→様々な施設の複合体とあるが、JRAウィンドとオフトの言及がないのはなぜかと思った。社会学は何気なく見落としがちなる事象やおよと思ひ観察することで、その原因や影響を考察するものというのを感じ、今和次郎を思い出した。
0498	女性	20歳代	私もカメラマンになったことがあります。広告とはおもしろいものですね。
0499	男性	20歳代	品川駅はよく利用する駅なので目の付け所に驚いた。
0500	女性	未回答	ト一横はある人々にとっての居場所になっていると思うと、完全に排除するというのは可哀そうだと思った。しかし、好き放題させるというのは危険だと考えられるため、監視という現状の取り組みが最も適切だと感じさせられた。
0501	女性	30歳代	普段見過ごしがちな風景を様々な角度で見ているので面白いと思った。そこにいる人がこれからどこへ向かうのか、何のためにそこにいるのか、調べてみたいと思ってなかなか難しいので、こういった展示の中で知ることが出来てよかった。自身も街の風景（場所・人・物を含め）観察してみたい。
0502	男性	60歳以上	②京急品川駅の1番線ホームは、今年9月に利用したばかりで、興味深く思ったところだったので、パネルの分析にフムフムと頷きました。④の秋葉原の「定置網漁」は実にネーミングが素晴らしいと感動しました。⑥の「くつろぎの仕掛け」は納得感のあるパネルの解説と写真に、私も行ってみたいと思いました。⑨の「ト一横」は、話には聞くものの行っていなかったので、最近の状況がよく分かり、勉強になりました。いずれの展示も大変良く出来ていて、選択に苦慮したほどでした。
0504	男性	20歳代	最近の社会問題について取り上げていてすごいと思った。
0505	男性	20歳代	メイドカフェに行ってみたいです
0506	男性	20歳代	人々の行き来する中で、様々なストーリーがあるんだと思った。
0507	男性	40歳代	スマートニュースのアプリで東京新聞の記事きっかけで来訪しました。印象的な写真とリアルな切り口がおもしろかったです。人数対比で1, 3はこんなに違うのかと思いつつ、一部数字（人数）がないと少し分かりづらい部分もありましたが、それぞれの方が表現したいテーマの差としてうけとめました。また、小さな補助としての写真（特に5, 6）は知識の時代の流れの参考になりました。
0508	女性	40歳代	何気ない日常の1枚が色々な見方や言葉で切り取ることができ、興味深かったです。写真も1枚1枚が素敵で楽しませて頂きました。遅い時間にもかかわらず対応して下さいありがとうございました。またこの様な企画をして下さること楽しみにしています。
0509	男性	60歳以上	これからも続けて下さい。また来たいと思います。
0510	男性	20歳代	良い感じに東京の色々な場所を見ることが出来て嬉し、楽しかった。私はまた来たいと思った。私は。私はね。

0511	女性	20歳代	2010年度作品のぞき見と流し見が興味深かった。夏に電車のつり広告が全て伊藤園の健康ミネラルむぎ茶だった際に、目を惹きつけられたため、強制的に見せられることと同じ効果であったことを実感した。05の作品は、人だかりで広告が見えないため興味のある人のみが足を止め、目にするが、興味の無い人からすると、人だかりでマイナスの効果なのではないかと思った。しかし、拡散で意味をなす点は、明察であると感じた。全くこの広告を知らない人にとって、プラス面とマイナス面のどちらが大きいのか気になった。
0512	その他	30歳代	4の作品は、文章のユーモアと分析とがきちんとあってよかったです◎ノウハウが蓄積されなかった中で、ここまで作り上げてこられたこと、本当にお疲れ様でした。写真や文章からも苦戦のあとが伺い知れるようです…◎今回で終わりとはさびしいですね。またご縁がありますように。同期の作品もあって嬉しかったです！なつかし！
0513	女性	60歳以上	新しさは感じなかった。私の年代から見ると若い頃行動し、群がっていた世界、生きてきた道のあり方を感じ、今（現状）も同じなんだとの見方でした。
0514	男性	60歳以上	視点が面白く、何力所か、興味が湧く。
0516	女性	30歳代	展示、全て楽しめました。ありがとうございます。日常は通り過ぎてしまう一場面を切り取り、特徴や社会現象に合わせての分析は興味深く拝見しました。No.9については、私が学生時代に感じていた街のイメージが変わり気になっている話題でしたので、作品になっておりうれしかったです。私は東京の開発による変化や過去との比較等が知りたかったです。
0518	男性	40歳代	現在の東京を切り取っている作品を〇つけしました。九段の喫煙所は、以前は首都高下にもあったので人の流れがどう変わったかも掘り下げてみると良いと思った
0519	男性	50歳代	定置網の表現は面白いが、たぶんかすみ網の方が正しい
0520	女性	50歳代	どの場所も自分の生活からさほど離れていなく、よく見る場所でありながら、それぞれの特徴が表れている。④の秋葉原は、メイド喫茶について意識したことがなかったので、各店等間隔に並ぶ様子は客観的にみると面白い。京都鴨川の河原に一定の距離を置いて座るカップルのよう。
0521	男性	40歳代	①確かに言われてみれば、独立した駅舎、特に写真をとりたくなるような駅は少ないですね
0522	男性	20歳代	人の動きに注目していて、たいへん興味深かった。
0523	男性	60歳以上	下高井戸駅周辺再開発に関し日大が取り組んだ内容を紹介して欲しい。現状紹介が不十分。今回の展示は、現状の単純評価に終始し、分析・提言が弱い。
0524	女性	60歳以上	きらびやかな東京駅とひっそりした上野駅の対比が良い。
0525	男性	60歳以上	秋葉原：定置網漁という捉え方は秀逸です。管理された公園：重要な問題提起だと思いました。
0526	女性	20歳未満	現代っぽくて良い写真がいっぱいあった。東京の街という感じがしていいなと思った。
0528	男性	40歳代	東京の知らないたまり場を知る機会としてよかった。
0529	女性	50歳代	1. 東京と上野公園口の対比が面白かった。2. 羽田行く以外使わないので4色に助けられてたので。6. 通る度にちょっと気になったスペースなので、なるほどと。
0530	女性	40歳代	9.「トー横」…とらえ方が浅いと思います。「居心地のよさ」「管理」という面だけでなく、本当はここに来たくないのに、こそこ居場所がない子供が抱える話題にしっかりと目を向けてください。2. 上から見ているところが分かりやすい。4.昔の写真とのちがいをの着目が良いと思いました。
0531	女性	50歳代	今年は品川駅から羽田空港へ行く機会が多くあり、なじみのある通路も上から見るとこのように見えるのか、と新鮮に感じました。ありがとうございました。
0533	女性	20歳代	ピラ配りはただ人通りが多いという理由で1列でピラ配りをしているのかと思っていましたが、集団で視線を集めるというのは確かにそうだった。思い返せば新宿のトー横付近でも集団でピラ配りをしているのを見たことがある。
0534	女性	60歳以上	東京の色々な街のそれぞれの“顔”をゆっくりと拝見させて頂きました。写真がとても美しいです。普段何気なく通り過ぎている場所について、なるほどと思う発見が数多くありました。勉強になりました。
0536	女性	30歳代	No.6の休憩スペースの透明人間の写真は私が2010年に担当していた作品と連動していて嬉しい＆まだ同じ場所で同じような光景が続いてるんだとビックリでした！！トー横ってあんなにホームレスみたいなんですねー！
0538	女性	20歳未満	東京の新たな一面、今まで知らなかった一面をかきまみることができたような気がした。写真で分かるリアルな東京、学生の考察なども鋭く、見応えがあったように思えた。展示物はどれも興味深かった。新宿の透明人間になれるスペースは少し行ってみたいと思った。
0539	女性	20歳代	初めて社会学の展示を拝見しました。東京の知らない一面を知ることができ、とても興味深いと感じました。次回の開催の際もまた来たいと思います。

0540	女性	30歳代	2. 品川駅で色分けされた枠には全く気がつかなかったのですが（年に2回新幹線を使うだけだからと思いますが）、とても便利だと思いました。4. メイドさんの立ち並ぶ姿を観察することを私はふだんしないので、「確実に客が網にかかってくる」という表現が新鮮でした。6. ルミネエスタの計算についてまで考慮しているところが奥深いと思いました。9. 東京ドームシティと老若男女のニーズについて、確かに、なるほどと思いました。
0541	男性	60歳以上	02. 京浜急行の本線は品川からどこまでかご存じですか。三崎口へ行くのは支線なんですよ。京急蒲田駅は「失敗」ですね。
0542	男性	50歳代	4. サブタイトルが良いと思いました。
0543	女性	20歳代	東京の様々な場面に着目しまとめられていて面白かった。23年度の作品だけでなくそれに関連した数年前の作品もあることで、よりそのテーマについて考えることができ、良かったと思う。
0544	男性	40歳代	日常通り過ぎるだけの場所も足を止めてそこに居る人間を観察すると、新たな一面が発見できることがわかった。ありがとうございました。
0545	女性	40歳代	④写真を見た人に色々想像させ、考えさせられるパネルです。まさに“写真で語る”でしょう。⑤広告の展示期間中の旬のパネルですね。おもしろかったです。⑨トー横の昼の一枚なんですね。ニュースでは夜の情報しか見たことがなかったので。昼も夜も“引き寄せ合う何か”が存在する場所です。社会学、幅広い分野ですが、見て、考えることを続けて下さいね。
0546	男性	20歳代	普段から馴染みのある場所でも意識を変えてみたり、考え方を試してみたりすることで全く違う解釈があると感じました。
0547	女性	50歳代	どの作品も興味深く拝見しました。普段利用しているような場所も社会的に見るとこうなんだと、目からウロコでした。特に、最近京急品川駅を利用して、ホームの色分けが印象的だったので、気に入りました。
0549	男性	40歳代	京急の品川駅は3番線まであります。大師線と逗子線に直通する電車は今なかったと思います。逗子・葉山行は羽田空港発だったような気が。秋葉原に立っている人の間隔や時間を測るという視点は面白かったです。
0550	男性	20歳代	皆様、街をしっかりと観察しており、そこから読み取れる背景などを考察しており勉強となりました。
0552	男性	60歳以上	作品数を増やして、また開いてください。
0555	男性	20歳代	それぞれの視点が面白く、5番で言われている「カメラマン」+「記者」をどの作品の方々も体現されていて面白かった。
0556	女性	20歳代	人と目を合わせるのが苦手で、自習室や食堂など普段の生活で人と視先がぶつからない場所を好んで探している。そのため誰とも視先を合わせる必要がない状況を透明人間と表しているのがとても面白いと感じた。また、透明なはずの人間をとらえた視点も興味深かった。
0557	女性	20歳未満	社会の姿がそのまま出ていて、現実味が好きだった。
0559	男性	20歳未満	「雑踏」って感じがしていいと思った。
0560	女性	20歳未満	リアルな日本のサラリーマンたちの日常を感じられて良いなと思いました。
0561	男性	50歳代	写真から人の好む動きが見えますね。おもしろい企画です。
0562	男性	40歳代	30回お疲れ様でした。
0564	男性	30歳代	OBです。昔を思い出して写真を見てノスタルジーを感じました。作品「8」に関しては、私も別のライブに行くことがあったので当事者として納得というかこう見られるのかと思いました。学生の皆さんおつかれ様でした。
0565	男性	50歳代	写真も良いが、説明文もすばらしかった。この両者がとてもうまくマッチングしている。今の世相をよく写し出している。見ごたえあり。
0566	女性	40歳代	「トー横」はニュースでよく聞くが実際写真で見ると別のインパクトがあって驚く。何だか、日本ではないような気がした。
0567	男性	30歳代	4は何度も登場しているテーマだと思うが、読ませる文章になっているなどと思いました。オチの表現も割と好きだった。ただそれだけにもうちょっと写真にもインパクトがあると良かったなどと思いました。9はテーマ的に今またタイムリーだししっかりしたインタビューと観察をしてキャプションを書き上げているなどと思いました。タイトルがもう一捻りあると良かったかもと思いました。ともあれ9本の研究作品お疲れ様でした！
0568	男性	30歳代	ゼミ卒業生です。現役最後の展示会とのこと、お疲れ様でした。久しぶりに展示会に来させて頂き、現役時代を思い出しました。今後の展示会はどうなるのかは分かりませんが、卒業生が集まるいい機会、また何か機会があれば来たいと思います。今後の後藤ゼミに期待するとともに後藤先生、現役生の皆様のご活躍をお祈りしています！
0569	男性	30歳代	展示会おつかれさまでした。展示写真の撮影、インタビュー、キャプション作成、プロモーション全てやり切れた体験は意外に貴重な体験だと思うので大切にしてください。

0570	男性	30歳代	私は仕事で京急線を利用していますが、行き先が複雑だと日頃感じていました。この疑問をキャプションしてれたのは面白かったです。
0571	男性	40歳代	4の作品について秋葉原のビジネスの変遷とともに集まる人も変わっていき。その象徴的な写真として面白いと思った。ファミリー→電化製品好き、パソコン好き、アイドル好き、メイド喫茶のファンと一見繋がりが無いが、スムーズに集団の移行ができた理由はなんだったのか調べてみると面白い。
0572	女性	30歳代	写真から読み解く？研究、とても興味深かったです。秋葉原の一定間隔で並ぶメイドさんが集団にいることに意味があるという考察はなるほどと新しい発見を教えてもらえたような気がしました。
0574	男性	60歳以上	大都会の裏側の写真が見たい（陰の部分）
0575	女性	30歳代	都立の公園にいる人々を捉えた写真が見てみたいです。東京には緑文化が保全された環境がたくさんあるのも特徴だと思います。また、写真としても綺麗な景観で映えると思います。また楽しみにしています。
0576	男性	30歳代	京急品川駅は出勤で日々使うので色分けについてはその通りと感じました。コロナも明けて海外の方も増えたので柵に収まらない人がL字に曲がっているのが邪魔です。人数が少ない中でお疲れ様でした。
0577	男性	30歳代	No.6の作品について前回の作品（2010）と同じ場所が時代の経過で異なる役割持たせられることになったことがとても面白かった。
0578	男性	20歳代	自分の生活の中で感じることのメカニズムが見えて面白かった。
0580	女性	30歳代	キャプションが洗練されておどろきました。
0582	男性	30歳代	過去作品との比較できるのが面白い取り組みと思った。今回の新規作品の発表は終了とのことではあるが、今後の活躍に期待しています。
0583	男性	20歳代	今の日本の格差社会を目の当たりにしました。今度トー横に行って実際の状況を見ようと思います。
0584	男性	20歳未満	下と上の余白が良い。
0585	男性	60歳以上	2020年以降、東京の街を歩くことがほとんどなくなったため、この間の変化を諸写真によって感じられ、それぞれの背景をさらに追求してみるなら、さらに興味深いものだろうと思われる。
0587	女性	30歳代	お疲れ様でした。
0589	男性	40歳代	社会的な観点だけでなく、メディア論的な観点からも興味深い作品が複数あり、見応えがありました。
0591	男性	20歳代	06の無料休憩所がの比較がとても興味深く感じました。
0592	男性	20歳代	まずは3年ぶりの展示発表お疲れ様です！2023年はホストクラブやコンカフェの未成年による売掛という問題もあったため、4,9については今年を象徴する作品なのかなと感じました。特に4の「定置網漁」というフレーズはインパクトがあり、9についても「トー横＝若者」というイメージがあっただけにインド人、パキスタン人の人々のコミュニティを形成しているのは意外でした。
0593	男性	30歳代	まずは展示会準備お疲れ様でした。私の時は100周年記念館でやったので何かしら場所の制限があったと思いますがこじんまりとしているというのが第一印象でした。作品は東京に住んでいるとなんとなく馴染みある光景が多い中で品川駅は神奈川県出身で京急線ユーザーだった身としては懐かしい内容でとても興味深かったです。
0594	男性	60歳以上	美しい写真が撮れていること、街角でのインタビューなどの調査によるコメントもあり、東京の社会的実相に興味深く見せてもらいました。しかし、東京の多人口、多様性から色々な魅力が溢れ出ることはある意味必然。むしろ、東京一極集中による弊害。地方の深刻な衰退に目を向けていただきたく、そこへの対策を練り上げ、各方面にアピールする努力をお願いしたいと思います。
0595	女性	40歳代	作品数は少ないですが、気軽に見られる点数でよかったです。30年も展示されてたのですね、、、。どこかでまた振り返って作品を眺めたいと思います。
0596	男性	40歳代	社会で起きていることには何か理由があると考え、実際に社会に出てからも役に立つと思います。お疲れ様でした。
0598	女性	40歳代	久しぶりに後藤ゼミの作品を拝見してとても懐かしかったです。後藤ゼミならではの感じが良いですね。
0599	女性	30歳代	10年以上前に歌舞伎町でフィールドワークをしていましたが、No9「トー横に集まる人々」を見て昔と様変わりしたなと思いました。展示お疲れ様でした。まわらないコマとかの作品があったような、、、。
0601	女性	30歳代	10年以上ぶりに伺いました。下高井戸から学校までの道が懐かしかったです。後藤先生がお元気そうでよかったです。ありがとうございました。
0602	男性	30歳代	作品制作お疲れ様でした。コロナ禍で展示のノウハウが途絶えて大変だったことだと思いますが開催までの苦労は今後の仕事などに生きてくると思います。卒業してまもなく10年ですが変わらずに展示が行われていることが嬉しいと思うのと東京が色々変わっていると感じる展示でした。

0603	男性	20歳代	ありがとうございました。
0605	男性	40歳代	ゼミの在り方が変化しながらも、ここまで継続して作品を展示できたのゼミ生の皆さんにや先生の並大抵でない努力があったからだと思います。皆さん今までお疲れ様でした。
0606	男性	20歳未満	とても良かったです。
0607	女性	20歳代	東京ドームはライブ会場、野球場のイメージが強かったので、複合施設に目を向けたり、各施設の棲み分け考えたことがなかったので面白かったです。ジャニーズ最高！
0608	女性	20歳代	人の集まり方や流れは面白いなと思いました。とても素敵だなと思ったので、うちの学科のゼミもこういう取り組みをしてほしいです…笑